

新デザイン！姫路城入城記念書(御城印)販売！！



販売期間:令和3年2月1日(月)～7月31日(土)

料金 :1枚300円(税込)

販売場所:姫路城売店(姫路城出改札横)

販売時間:9:00～17:00

注意 :姫路城入城者の方にのみ販売
お1人様3枚まで

御城印帳一般販売開始！！



販売期間:令和3年2月1日(月)～

料金 :通常版1冊3,500円(税込)
姫革細工版1冊16,000円(税込)

販売場所:姫路城売店(姫路城出改札横)

販売時間:9:00～17:00

姫路城 御城印について

姫路城では令和2年2月、9月に酒井家をモチーフにした御城印を販売させて頂き、ご好評を頂いております。

この度、令和3年2月に本多家をモチーフにした御城印を販売させて頂くことになりました。

家紋について

本多家の家紋である丸に立ち葵(たちあおい)と本多忠刻公に徳川家から輿入れした千姫にちなんで葵の御紋を配しております。

本多家の家紋に関しては姫路城の瓦に残っていたものを、葵の御紋に関しては千姫が神社に奉納した羽子板にある葵の御紋をモチーフに制作しております。



姫路城瓦



千姫奉納羽子板

文字について

姫路城城主本多家の墓所のある書寫山圓教寺の大樹孝啓(おおきこうけい)位職に依頼し、「姫路城」の文字を揮毫して頂きました。

圓教寺にある五棟の廟屋は、江戸初期から中期にわたる廟屋の建築として県下でも例のない珍しいもので兵庫県指定文化財となっています。



姫路城御城印帳

からん染めは平安時代から多くの和歌に「飾磨のからん」などと詠まれた有名な藍染で、一説によると、今では四国が有名である藍染もその昔は播磨が一大産地であったと言われています。江戸時代になるとその染法は失われますが姫路藩家老の河合寸翁が復元。残念ながら現代までその染法が伝わることはなかったのですが、藍の液に何度も浸して染め上げた黒に近い濃紺色と考えられています。その色合いをモチーフに今回の御城印帳の装丁をデザインしています。



姫路城御城印帳(姫革細工のカバー付き)

御城印帳に姫路市特産の「白くなめした牛革」の名産品である姫革細工のカバーをセットした特別な1冊となっています。財布や名刺入れなど様々な商品がある姫革細工。職人による手作業による色付け、持てば手に馴染む質感。使えば使うほど味が出るものとなっています。デザインの家紋については現在の姫路城の形となった江戸時代の城主の家紋と姫路で最も有名な武将の一人である黒田官兵衛の黒田家の家紋を配置しています。



<お問合せ先>

公益社団法人姫路観光コンベンションビューロー

TEL: 079-287-3655 FAX: 079-222-2410

HP: <http://himeji-kanko.jp> mail: info@himeji-kanko.jp